

ひょうごらくのうメモ

2

2022FEB



フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

生乳生産統計

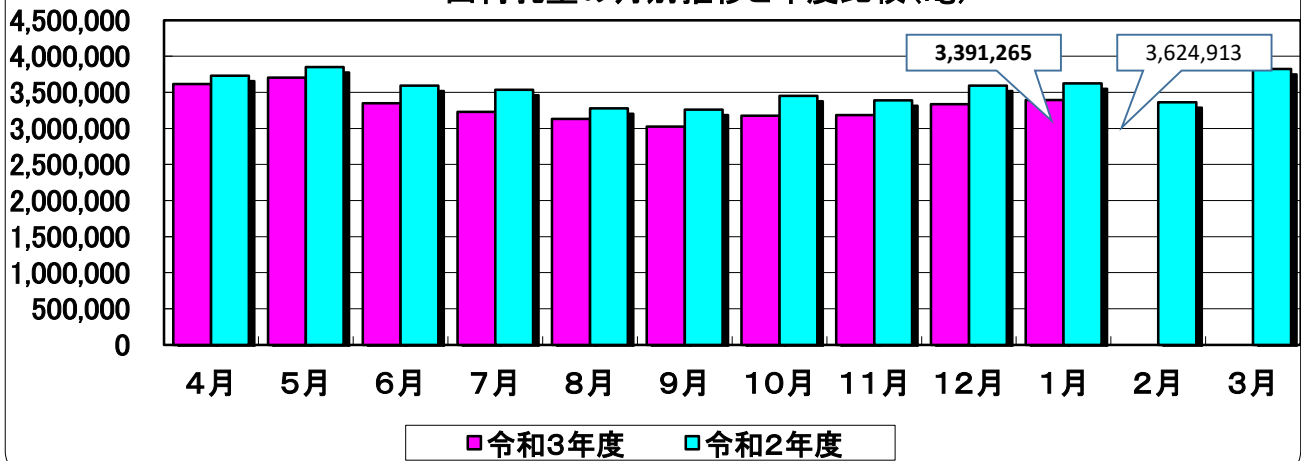
1. 全国(令和3年12月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	3年	4月	643.6	101.5
令和	3年	5月	669.9	101.9
令和	3年	6月	640.6	102.8
令和	3年	7月	639.2	101.8
令和	3年	8月	628.2	103.4
令和	3年	9月	613.3	104.1
令和	3年	10月	630.7	103.0
令和	3年	11月	614.1	103.4
令和	3年	12月	645.6	103.8
令和	4年	1月		
令和	4年	2月		
令和	4年	3月		
令和	3年度累計		5,725.2	102.8

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 4年1月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	627,349	102.3	6,116,221	99.9	22
播州地区	560,349	68.0	5,767,936	70.6	21
丹但地区	329,993	100.6	3,206,737	98.2	16
淡路地区	1,873,574	100.8	18,050,136	101.7	92
合 計	3,391,265	93.6	33,141,030	93.9	151

出荷乳量の月別推移と年度比較(kg)



理事会報告

令和4年1月28日(金)、ZoomによるWEB会議方式にて第9回理事会を理事6名、監事1名の出席の下開催した。組合長挨拶の後、令和3年度生乳計画生産進捗状況、令和3年度10月、11月起点限定決算状況、地区別懇談会の結果について報告し次の事項を協議した。

①不需要期乳製品保管支援緊急対策事業実施について

コロナ禍に伴い、生乳需給緩和における乳製品加工在庫の解消の為、中央酪農会議・指定団体が緊急対策として不需要期に製造された脱脂粉乳についての保管料等経費に対する支援の取組を実施。生産者負担として1月から3月の間、生乳1キロあたり4銭を拠出する内容を承認した。

②相続に伴う組合員加入の承認について
申込のあった組合員の加入を承認した。

③令和3年度事業分量配当について

令和3年度決算において、今期剰余金の発生具合により事業分量配当を行う事を決定した。その他として、組合事業運営スリム化に関連し、組合機構の変更、また、乳質格付け変更、自家育成奨励の新設を話し合い、次回理事会に協議する事とした。

【連絡事項】

近畿生乳販連・増産対策奨励事業(キロ当たり60銭拠出)を令和4年度は休止することとなりました。

(令和元年度からの事業実施により、一定程度の生乳生産が回復基調になる。反面、コロナ禍が影響し、全国的な需給緩和による脱脂粉乳等の在庫が異常に積みあがる状況になった為、需給及び乳製品在庫の環境が改善されるまでは当面休止すると近畿生乳販連理事会において決定されました。)

◆ 主な行事予定 ◆

31日	棚卸監査(淡路 小野 本所)
29日	ひょうご農林機構社員総会 共済会館)
25日	全国酪農協会理事会(酪農会館 WEB)
24日	理事会 WEB)
23日	全酪連 ブロック別会長組合長会議(新大阪)
22日	近畿生乳販連理事会 臨時総会(WEB)
11日	兵庫県畜産協会理事会(農業会館)
10日	ひょうご農林機構常任委員会 担い手 企画委員会 (WEB)
9日	令和3年度兵庫県「トライやるウィーク」推進協議会 (淡路家畜市場)
5日	第40回兵庫県ブラックアンドホワイトショウ
3日	近畿生乳販連 理事会 京都市
3月	
28日	令和3年度ひょうご食品認証制度に係る 畜産物審査会 県民会館 (WEB)
22日	内部管理職会議
17日	全国酪農協会令和3年度役員報酬等審議委員会 (WEB)
2月	

淡路家畜市場情報

令和4年1月9日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	19	102,300	172,700	30,800			56		
		前回	19	107,568	223,300	27,500			55	-5,268	-4.9%
		前年	12	164,083	221,100	95,700			55	-61,783	-37.7%
	オス	今回	12	144,467	202,400	88,000			52		
		前回	21	168,667	292,600	23,100			54	-24,200	-14.3%
		前年	15	195,947	270,600	125,400			54	-51,480	-26.3%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	13	65,746	90,200	16,500			53		
		前回	8	56,650	68,200	26,400			53	9,096	16.1%
		前年	6	50,600	86,900	1,100			51	15,146	29.9%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前回は令和4年12月25日・前年は令和3年1月9日

令和4年1月25日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	19	114,226	235,400	8,800			57		
		前回	19	102,300	172,700	30,800			56	11,926	11.7%
		前年	21	138,338	251,900	24,200			58	-24,112	-17.4%
	オス	今回	21	170,029	249,700	1,100			55		
		前回	12	144,467	202,400	88,000			52	25,562	17.7%
		前年	19	204,368	322,300	45,100			55	-34,339	-16.8%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	4	69,025	83,600	52,800			56		
		前回	13	65,746	90,200	16,500			53	3,279	5.0%
		前年	9	49,867	97,900	1,100			52	19,158	38.4%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前回は令和4年1月9日・前年は令和3年1月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
元年次	106,358	965	115,241	1,509	89,826	324	119,245	101,375	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
2	1	72,711	79	88,802	107	78,414	35	99,312	8,429
	2	96,692	71	84,897	123	65,956	25	116,657	7,445
	3	95,530	84	72,800	99	56,203	32	127,152	8,407
	4	106,801	76	89,371	138	83,952	25	112,406	7,965
	5	127,344	56	129,737	70	137,561	18	130,030	6,357
	6	170,661	41	136,631	62	141,300	11	138,565	7,411
	7	146,517	71	133,018	94	157,942	12	115,992	7,780
	8	102,714	77	102,638	91	102,457	21	99,222	8,000
	9	95,278	112	85,488	134	93,384	19	87,265	8,890
	10	73,842	93	73,842	155	62,407	30	86,093	8,390
	11	76,546	75	79,362	122	93,412	25	103,054	7,790
	12	81,180	85	81,802	115	87,323	26	102,168	8,559
3	1	74,951	73	83,781	140	69,300	26	95,228	7,994
	2	90,956	80	77,146	113	78,670	27	114,698	7,292
	3	78,467	102	82,885	120	78,994	16	121,268	8,569
	4	97,866	64	83,789	99	75,586	21	120,717	7,836
	5	110,018	61	134,429	72	93,500	16	128,192	6,630
	6	113,898	57	136,849	71	97,400	11	144,228	7,423
	7	112,200	41	126,358	62	122,788	8	124,034	7,795
	8	77,964	97	107,461	90	103,309	12	86,736	9,584
	9	77,831	86	92,543	146	58,916	25	89,535	9,337
	10	78,137	90	78,592	94	61,166	33	91,592	8,155
	11	62,447	126	75,300	88	69,527	29	95,526	8,998
	12	50,868	70	73,910	89	59,070	30	95,355	8,450

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
元年次	299,511	4,603	297,920	4,355	341,703	1,764	277,802	150,447	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
2	1	255,373	517	251,538	374	288,876	218	220,601	14,628
	2	240,332	538	222,488	359	257,248	173	227,973	13,156
	3	195,549	683	182,171	323	217,338	195	213,626	14,189
	4	220,787	488	208,505	391	227,987	169	204,339	13,884
	5	248,271	371	233,626	307	321,956	259	212,946	12,042
	6	290,724	415	276,787	306	296,717	132	225,857	13,406
	7	280,087	317	273,679	388	308,247	129	212,006	12,846
	8	240,193	426	251,646	343	295,730	136	185,153	13,410
	9	225,134	661	204,877	354	252,876	115	159,132	15,955
	10	202,868	559	175,313	466	223,767	172	136,432	16,775
	11	192,909	522	177,306	352	236,161	201	157,694	15,086
	12	203,071	530	172,839	419	244,046	215	162,807	16,856
3	1	176,878	569	167,562	375	209,403	218	153,326	16,059
	2	184,985	529	176,744	380	218,219	184	163,989	14,983
	3	193,366	652	186,041	336	220,852	164	170,965	16,982
	4	219,576	498	201,291	361	244,102	190	186,687	15,503
	5	246,620	460	238,559	320	272,352	167	195,944	13,107
	6	272,325	454	258,131	301	309,124	141	225,010	13,880
	7	272,221	382	260,423	353	315,644	99	233,389	12,736
	8	241,409	512	219,605	270	283,723	100	202,652	14,257
	9	209,604	521	178,319	452	224,607	138	179,956	15,205
	10	178,474	445	153,760	362	188,414	161	165,186	14,297
	11	178,880	595	153,774	302	189,770	199	165,438	15,744
	12	180,211	430	151,243	369	189,200	232	158,155	15,095

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

令和4年1月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（牝・牝系・他）				初妊牛（牝・牝系・他）				経産牛（牝・牝系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	1/7	502	598	4	373	3	384	327	349				
南北海道	1/8	51	502	95	282	88	1,032	232	581	44	543	80	203
根室	1/17					461	1,060	242	622				
釧路	1/18					226	1,210	275	582	3	286	242	268
北見	1/19					249	1,102	110	585	7	386	198	248
十勝	1/20					717	1,166	274	667	60	804	88	382
豊富	1/21					228	777	385	568	9	352	219	279
十勝	1/31	456	631	70	373								
合計	8回	1,009	631	4	368	1,972	1,210	110	621	123	804	80	300
前年同月成績	7回	502	642	55	462	2,191	1,319	222	788	92	791	184	457
前月合計成績	8回	967	546	19	302	2,770	1,322	220	613	116	816	66	377

ホクレン乳牛市場開催日程

2月2日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	3月1日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
2月3日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	3月3日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
2月4日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)	3月4日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)
2月4日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成	3月7日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津) 育成
2月15日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	3月14日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
2月16日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	3月15日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
2月17日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	3月16日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
2月18日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	3月17日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
2月24日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	3月18日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
			3月25日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富) 育成

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新米4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-23-4130
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和4年2月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	30~40	やや強含み	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で103.4%、累計で99.1%、苫小牧管内月計で98.7%、累計で98.9%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月上旬分娩が中心となります。1月の同地域乳牛市場は、横這いの相場展開をみせました。2月の相場展開については春分娩が中心になるため、管内庭先購買におきましても、やや強含みで推移すると予想されます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	初妊牛	57~67	やや強含み	
	経産牛	35~45	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30~40	やや強含み	根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.8%、累計で102.3%、中標津管内月計で104.9%、累計で104.6%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、需要が多い4月産みの春分娩となってきますので、庭先購買価格はやや強含みで推移するものと思われまます。腹別ではF1腹、和牛受精卵移植腹は堅調、雌雄選別腹はやや軟調で動くものと思われまます。初妊牛の動きに合わせて、産歴の少ない経産牛もやや強含みの動きとなるものと思われまます。育成牛につきましては、春産まれのものとなりますので、こちらも堅調に推移するものと思われまます。
	初妊牛	60~68	やや強含み	
	経産牛	40~45	やや強含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	35~45	やや強含み	帯広管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.8%、累計で104.5%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月上旬分娩が中心となります。1月の同地域乳牛市場は、上場頭数多かつたこともあり、横這いの相場展開をみせました。2月は春分娩の牛が中心になるため、管内庭先購買におきましてもやや強含みで推移すると予想されます。資源状況としましては、雌雄選別腹・F1腹ともに十分に確保できるものと思われまます。また、育成牛に関しましては、春産まれになるため、やや強含みの相場になると予想されます。
	初妊牛	60~70	やや強含み	
	経産牛	35~45	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	26~36	横這い	道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で103.2%、累計で100.5%、北見管内では月計で104.6%、累計で103.3%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月中旬~5月分娩が中心になります。生乳生産抑制の影響はありますが、春分娩は一定の需要があるため相場はやや強含みで推移すると予想されます。F1腹の引合いは強く、雌雄選別腹の引合いは弱く動くものと思われまます。経産牛について、出回り頭数は少なく、道内の引き合いは堅調なため、横這いで推移するものと思われまます。育成牛も来年春産みに期待できるため、堅調に推移するものと思われまます。
	初妊牛	57~67	やや強含み	
	経産牛	35~45	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30~40	やや強含み	道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は104.0%、累計で103.1%の実績となっております。道内では、積雪も多く最も寒い時期を迎えております。 2月の初妊牛動向といたしまして、需要の強い4月分娩中心となります。年明けの相場としては、やや強含み相場予想でしたが、大きな相場の動きは無く横這いとなりました。2月については、各地域とも本格的な春分娩に移行してきますので、やや強含みの相場展開を予想します。資源につきましては、引き続き潤沢であり購買しやすい環境となっております。購買計画がございましたら、お早めに最寄りの弊会支所担当者までご相談頂き、ご希望に合った搾乳用素牛を庭先選畜購買中心により供給させていただきますので宜しくお願ひ致します。
	初妊牛	60~70	やや強含み	
	経産牛	35~45	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368

令和4年2月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

2月8日にロサンゼルス港から発表された報告によると、ロサンゼルス港及びロングビーチ港における沖合でのコンテナ本船の滞船は83隻となり、先月1月6日の106隻をピークに減少しています。これは2月に中国が旧正月を迎えるにあたり、中国国内の製造業が休暇に入るため、例年1月中旬から北米への中国向けコンテナ本船の寄港が減少することに起因しています。海運情勢の改善が期待されていますが、引き続き未曾有の滞船数量で推移しており、日本への入船状況は回復どころか悪化している状況です。ロサンゼルス・ロングビーチ港から出港する、日本向けの直行便サービスは滞船を避けスケジュール調整を図るため、1月から毎週の定期運航から隔週に変更されています。この影響で輸送能力は従来に比べ大幅に減少しており、日本向け本船の船腹逼迫が続いています。加えて3月には同サービスで3週連続の欠便が発表されており、3月から4月にかけて更なる輸入量の減少が懸念されています。

日本向けにアルファルファ、チモシーが多く輸出されている PNW 航路においても状況は悪化しています。冬期を迎え米国のシアトル・タコマ港とカナダのバンクーバー港では強風や降雪の影響でターミナルが閉鎖する日が増えていることから、荷役効率が低下し、沖合での滞船が増えています。この影響から PNW 航路では船社によっては3月の1ヵ月間、日本向け定期便の欠便を決定しており、輸送量が大幅に低下する見込みです。

ビートパルプ

【米国】

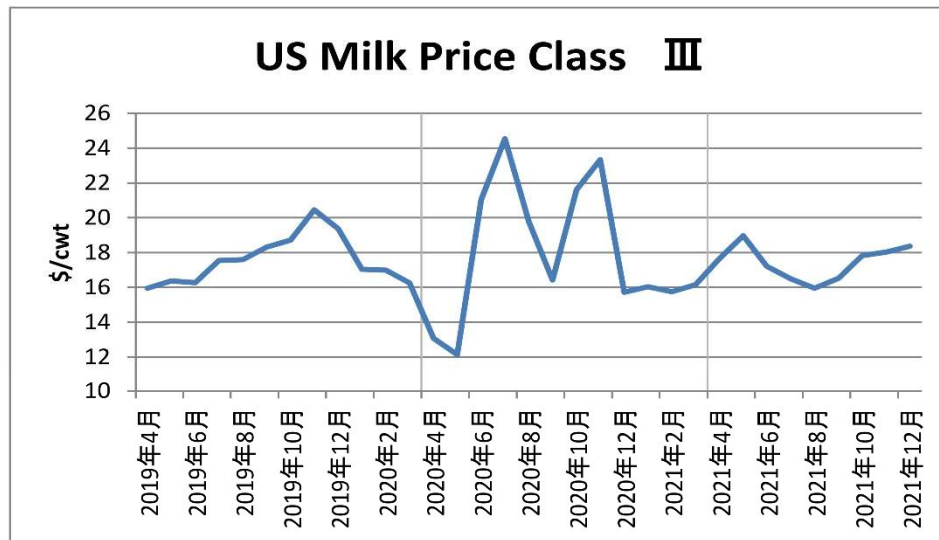
産地では各工場順調に生産が行なわれているものの、一部の地域で歩留まりが見込みより下回っていることから生産数量は下方修正されています。

需要については、穀物相場が堅調なことや他産地の相場上昇に伴い、国内外からの引き合いは旺盛であり、産地では余剰在庫はない状況です。

アルファルファ

米国、ヨーロッパ、オセアニアといった生乳の主要生産国の生産数量が減少しているなか、乳製品の世界的な需要は堅調なため、米国酪農家の乳価の指標となる Class

Ⅲ乳価は高い水準を維持しています。今後カリフォルニア州南部から22年産アルファルファの生産が開始されますが、高値で推移する穀物相場を背景に引き続き穀物の代替としてアルファルファの給与量を増加させる傾向は変わらず、上級品を中心に旺盛な需要が予想されています。中国の米国産アルファルファに対する需要が旺盛なか、米国の酪農家も乳価が堅調なため購買力は維持されると見られ、当面、産地相場は堅調に推移する可能性があるため注視が必要です。



(米国 Class Ⅲ乳価推移 単位：1ドル/100ポンド)

ワシントン州

産地では昨年末から年始にかけて大規模な降雪があったことに加え、コンテナ船の寄港スケジュールが不安定なため、物流の混乱が続いています。各輸出業者は遅延する本船にスケジュールを合わせるため製造と港へのコンテナ搬入の対応に追われている状況です。輸出業者によってはすでに3月いっぱいまで製造スケジュールが埋まっており、新規のオーダーはゴールデンウィーク前後の本邦到着となっています。

産地は冬期を迎え、自給飼料が不足する近隣州の肥育生産者と中国からの需要は旺盛で上級グレードから下級グレードまで相場は堅調に推移しています。

カリフォルニア州

同州南部のインペリアルバレーでは、22年産の生産が進んでおり、一部の圃場では収穫が始まっています。近隣州のアリゾナ州でもこの先2週間で1番刈の収穫が開始され、今後1カ月の間に1番刈の取引が本格化される見込みです。

米国産チモシー

アルファルファ同様チモシーも国内外から引き合い強く、産地相場も堅調に推移していることから、生産者によっては22年産の作付面積の増加も示唆しています。一方、主産地ワシントン州においてもアルファルファの相場も堅調なため、22年産チモシーの作付面積は春先まで注視が必要です。

スーダングラス

主産地であるカルフォルニア州インペリアル群の灌漑局の発表によると1月15日時点の競合作物であるデュラム小麦の作付面積は32,760エーカーとなっており、前年同期の13,662エーカーと比較し、240%と大幅に作付けが増加しています。肥料価格の高騰を受けデュラム小麦の作付け意欲減退も予想されていましたが、直近の小麦相場が堅調なこともあり作付面積が増加しています。

デュラム小麦の生育は早播きスーダンと収穫時期が重なり、小麦の作付け増加は早播きスーダンの生産量減少に直結するため引き続き作付面積には注視が必要です。

クレーングラス（クレーンは全酪連の登録商標です）

高騰する北米産グラスヘイの中で一番手ごろ感のある草種ということもあり、産地では韓国や日本から引き合いは強くなっていますが、すでに現地在庫は成約済みとなっており、余剰在庫はない状況です。22年産を取り巻く生産環境は厳しく、人件費、肥料代、燃油代など生産コストが上昇していることに加え、輸出業者も人件費や輸送費が高騰しているため新穀価格の上昇が懸念されています。

ストロー類

オレゴン産のライグラスストロー、フェスクストローは日本、韓国からの引き合いが引き続き強いものの、主要輸出港であるポートランド港では日本向けサービスの減便と慢性的に空コンテナの供給量が少ないため各輸出業者は満足に出荷できていない状況が続いています。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジ地区、中部クレモナ地区ともに21年産の産地在庫は成約済みとなっており余剰在庫はない状況です。21年産は夏場の早魃の影響で産地周辺の酪農及び肥育農家で自給飼料が不足したことや、米国チモシーの生産量減少を受けカナダ産チモシーに対する需要は増加し産地相場が上昇しました。このため22年産においても生産者はチモシーに対する作付け意欲が旺盛であるため作付面積の増加が期待されています。

豪州産オーツハイ・豪州産ストロー

21年産オーツハイは12月のクリスマス前に東豪州でベーリングを完了し収穫が終了しています。ウィートストローの収穫も1月までに終了しています。ストローの作況はベーリング時の天候の影響を受け各産地で様々となっています。西豪州では収穫期の天候に恵まれたため品質は良好なものの、南豪州、東豪州では不安定な気候から見た目の劣る品質のものが多く発生しています。

ストロー需要については、北米産の不安定な船積みの影響もあり、オーツハイ同様日本、韓国からの引き合いは強い状況です。一方で直近、肥料価格が高騰したことで、肥料の購入量を抑えるためストローをベーリングせずに圃場に鋤きこむ生産者も多く、各輸出業者は各国の需要を満たすほどの現物を確保できていない状況です。ストロー相場は国内外の需要が増えていることから上昇しており、下級品のオーツハイよりも高値で売買されています。

豪州海運情勢について

豪州航路も北米同様、コンテナ本船のスケジュールは不安定で各輸出業者はコンテナ本船到着に備えトラックの手配や製造に追われています。直近では西豪州のフリーマントル港及び南豪州のメルボルン港へのコンテナ本船の欠便が増えています。このため輸送能力が低下し、輸出業者によっては確保できた船腹に限りがあるため、各顧客に対し3月の出荷制限を行っています。また工場での作業員不足も表面化しています。従前であれば海外からのワーキングホリデーを利用した渡航者や農業研修者を製造スタッフとして雇用できたものの、新型コロナウイルス感染症拡大以降、豪州では海外からの渡航者を規制しているため、輸出業者によっては慢性的な作業員不足に陥っており工場の操業に苦慮している状況です。

以上